

普段着のわたしたち

我が家 2 代目の「鳩時計」です。1 代目は機械仕掛けでネジを巻きました。2 代目はクォーツ式です。定時になると扉が開き 2 羽の鳩が豆鉄砲を



砲をくらったように勢いよく飛び出し、時の数だけ事務的に鳴きます。泣き終わるときさっさと奥にひっこみ「ぱたっ」と扉がしまります。1 代目はもう少し「人情味」があった行動であったと記憶します。私はその「あっけなさ」を感じる 2 代目の方が好きです。無常を感じるのに余韻は必要ありません。妻に話すと、「あんたの月参りといっしょやわ！」と言われてしまいました。ごもつとも。

俊徳丸



愛用していたイヤホンをなくしました。仕方ないので新しく注文しました。

そうしたらなくしたはずのイヤホンができました。がっかりです。

征阿

『友引町内会通信』はパソコンやタブレットでもお読みいただけます。検索は <http://www.daigoji-temple.jp/> 「友引町内会通信」をクリックしてください。寺務局

夏限定、足にネイルをします。(手はお参りに支障がありますから)



サンダルから見える足先が華やかだと、気分が上がります。今月は、

友人のネイリスト渾身の作、アンパンマン。

息子は私の足を見るたび喜んでくれて、我が意を得たり。

しかし、「48 のおばさんがアンパンマンか・・・」と不意に冷静になり、出かける際には靴下を履くことが多く、本末転倒。

訶梨帝母



近所のホームセンターで熊ベルを買いました。

今年は、畑の作物がほぼ枯れてしま

うほどの酷暑です。熊の食べ物になる木の実が山には極端に不足しているでしょう。

名古屋市民から「何にもないところ」と酷評される岐阜ですが、岐阜県民は家庭にバーベキューセットを持っている%が日本一です。何もなくてではなく、バーベキューをできる場所がいっぱいあるところなので。そういう場所に出てくる熊に接近遭遇したら・・・。備えあれば憂いなし。

ベルの音は金額が高いほど大きいです。音色は？ そりゃもう鈴やか。迷走坊

今回は愚息の自慢話でもさせてください。

五歳の息子、生まれ落ちてより此この方かた、わりと手のかからない、健康で明るい子です。一歳にならぬ頃、夜中にミルクを作るのが面倒だった私は、寝る前に哺乳瓶にミルクを仕込み、枕元に転がしておく、朝、空になっていました。ミルクは溶かしたら早めに飲ませるように（品質的に）と書いてありますが、一晩なら大丈夫というのを実証済みです。ひどくお腹を壊したり、吐き戻したりという事も記憶にあらず。離乳食もパクパク、偏食もせず、アレルギーもなく、幼稚園も喜んで出かけ、誠に有難い「佛様からの授かりもの」だと日々感謝しています。

近年、時々寝ている間に鼻血を出します（すぐ止まる鼻血なので何ら心配なし）。或る晩、鼻血が出たと私を起こしました。私ときたら起き上がりもせず、電気もつけず、「今日チョコレートたくさん食べちゃったからでしょ！」とやや怒りまじりに枕

元のティッシュを取って息子の鼻に詰める
と、「ママ、反対です。そっちじゃない。」
あらま、ごめんなさい。私ったら鼻血を出している息子の顔も確認せず・・・というか、あなたちゃんどどちの鼻かわかっているのね。急に後ろめたくなり、電気をつけ鼻血を確認してティッシュを詰めなおしてやりました。

こもりうた 44

数日後の或る朝、目覚めて隣で眠る息子を見て唾然。なんと鼻にティッシュを詰めて寝ているではありませんか。察するに、ママを起こしたところで反対の鼻に詰められるし、おやつチョコを罵られるし、と自ら処置をした模様。更に、自分が起きてからはシートを剥ぎ取り持ってきて、「昨日鼻血が出ました。ここに少し血がついちゃったからお洗濯してください」と言う始末。天晴れ、我が息子よ。

その話を両親にした所、「こんな小さい子が鼻血出しているのに気づかず寝てる？なんて母親だ！かわいそうだ！虐待だ！」

と散々に罵倒されました。ごもつとも、おつしやる通り、以後気をつけます。でもあれ以降私を起こさないのですけど・・・

そして息子、父母の家に泊まったある日。朝、父が目覚めて恐れおのき母を揺さぶり起し。見れば鼻にティッシュを詰めてス



ヤスヤ寝ている孫の顔。さすが我が両親。あなた方も寝ていらした？孫がたまに泊まって鼻血出しているのに。小さい子が一人で起きてティッシュ詰めてるのに。私をあんなに責めた方々が。へー、お二人ともお気づきにならなかつたですかあ。

お互いを罵りあっても仕方ないので、こはここのチビスケが偉い！ということに着いたしましょう、という顛末。

訶梨帝母

行くなら今だぞ！

同級生が西国三十三観音札所巡りを始めました。夫婦交替で車を運転し、四ヶ寺ずつ巡拝していく計画らしいです。

「今、参つとかんと、そのうちでけへんようになるからな」と聞いて、なるほど！

三十三ヶ寺のほとんどが、平安時代かそれ以前に創建された名刹で、佛像も建物も

国宝か重文級。日本佛教美術史上貴重な寺

院ばかりです。ただ、山の上に建てられて

いる所が多いのです。第四番施福寺（榎尾

寺）さんや第十一番上醍醐准胝堂さんへは

登山の覚悟がいりますし、第三十一番長命

寺さんでは琵琶湖岸の麓から本堂まで808段

の急な階段が待ち受けています。第二十四

番中山寺さんのように、境内にエレベーター

やエスカレーターが設置され、スロープ

などのバリアフリー対策が進んでいるお寺

は、多分ここだけかなあ。

ですから、団塊の世代は今を逃すと、行きたくても行けなくなるのです。



巡礼者の正装はこのようなものです。

現在では正装の人の数が少なく、白

衣に輪袈裟、数珠を手に、足元はウォーキングシューズで参拝されています。

霊場のことを「札所」と呼ぶのは、かつては自分の名前を書いた木札をお堂に打ち付けたことによりです。

今から150余年前、拙寺の檀家さんのご先祖がこの巡礼の旅に出ました。

流行病の病魔退散を願って、村人は代表数名を選び、

皆が持ち寄って路銀を調達したようです。

我が家を出発して伊勢神宮へ参詣し、第

一番青岸渡寺さん（和歌山県那智勝浦町）

まで約300km。そこから番外の3カ寺を含め

て第三十三番の谷汲山華嚴寺さん（岐阜県

揖斐川町）まで2府5県にまたがる約1000

kmの道程。その上に当時の習慣で、結願後に

長野の善光寺さんまで「お札参り」に行っ

ているのです。それが往復約550km。

当たり前の話ですが、この距離を全部自分の足で歩いたのですよ。

それぞれの観音さまから頂いた功德をいっばいに身に付けた村の代表たちは、自分

だけが功德を頂いているのは申し訳ないと思っただけです。当時は、農家の人々がそ

う簡単に旅行ができない時代。地元にながら誰もが三十三観音さまを拜めるようにと、近郷近在に呼びかけ、37体の石佛の製作を發願しました。

石工は現在の大垣市在住の井川墨太郎、

建立は元治二年（1865年）と石佛に彫

られていますので、材料は現在の養老町で

産出する「養老石」とまで判っています。

今、テレビでやっている『西郷どん』の

時代に造られ、明治初年の「廃佛毀釈」の

嵐に耐えて、現在は拙寺の鐘楼門の両脇に

鎮座されています。

大学の先生からこの話を教わって、それ

までの勿体ない祀り方を大いに反省したものです。「罰当たり奴が！」

迷走坊

京セラドームを見て



夏の「甲子園」初戦のプレーボールと同時に私の「8月盆檀家さん参り」も始まります。だからこのイライラの繁忙期、テレビでそれを見ることもありませんし、そもそもスポーツ観戦が好きでないスポーツ音痴の私です。

今年も3日から大阪市内を一日電車で移動し、お参りが始まりました。関西最後の檀家さんが西宮です。環状線で天王寺駅から大阪駅に向かっている途中、車窓から沿線に隣接する「京セラドーム」が見えます。既に今年の異常的な酷暑で高校野球地方大会においてスタンドで応援している多くの生徒等が熱中症で病院へ搬送されるニュースを見ました。この暑さは西日本では更に続くと思われていますし、近年毎年のように危険な暑い夏が続いています。それなのに、なぜ炎天下で試合をしなければならない「甲子園球場」なのでしょう。スポーツ音痴の私には理解できません。開催地を北海道にするとか、関西圏開催にこだわるのであれば、今見えている「京セラドーム」ならば冷房が効き快適な環境でプレーや応援ができるでしょう。この夏、小学1年の児童をはじめ暑さで命を落としている人のことを踏まえるとお金には代えられないと思うのですが。高校野球開催中の場内では「生ビール」が販売されています。教育理念を掲げる高野連にしては「寛大」な運営です。開催地に関してもこのよ

うな対応ができないものでしょうか。

その点を調べてみますと、高野連は約15日分の甲子園球場の使用料(グラウンド整備費は別)を昭和21年以来払っていないそうです。運営経費で一番の支出である球場使用料がタダなのです。その反面、全試合を放送しているNHKなどが高野連に支払う放映権料は受けとっていないそうです。その辺のカラクリが、昭和21年以来わずか6名しか代わっていない高野連の爺様方(歴代会長)に不信を抱かされます。この方々、批判をうけながらも未だ女子部員の試合参加を認めようとしない「化石」です。

更にこちらもタダを良いことに、春夏一日中高校野球をテレビとラヂオで放送しているNHKもおかしいと思います。これが民放局であれば会社の方針でそうあっても全くかまいません。国民の受信料で運営されているNHKはそれをしてはいけません。真面目にお支払している人の中で、これほど高校野球を見たい人はどれくらい存在することでしょう。春夏全試合を単純にトータルすれば、1年間の内、約1ヵ月間弱の日中の時間においてそれが放送されていることとなります。国技の「大相撲」と比べても異常としか言いようがありません。春の大会はNHK局内の人事異動による多忙の為、夏の大会は局内職員のサマーバカンスの為にタダを良いことに純粋な高校球児たちが利用されているような気がしてなりません。またラヂオにおいても、高校野球放送時間を減らして、子供たちのためにも『夏休み科学子供相談』の時間枠を増やしてほしいと思います。俊徳丸

大地震への備え

名古屋、大阪など南海トラフ沿いにやがて襲来するという、とてつもない大地震のことがずいぶん前から世に喧伝けんでんされています。地震が起こる仕組みと地層の様子、これまでの地震の形態の研究が進んだ結果、いづれ近いうちにこの大地震が起こるだろうと言われています。

ただ、これまで、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）、新潟県中越地震、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、つい先ほどの熊本地震と大きな地震が起こっています。特定の地震が、事前に予知されたものは一つありません。現在の知識では、小規模の地震でも予知できません。地震は起こらないとわからないのです。次の大地震も来てみて初めてわかることになります。

一般の人々は、地震が来る地震が来ると繰り返し聞かされて、では、どのような災害防止の対策をしているのでしょうか。ほとんどの人は何も準備していないのではな

いでしょうか。地震のための非常用持ち出しパックを揃えるぐらいが、せいぜいというところでしょうか。それすら、何年も前から用意している人は、用意したこと自体忘れていくかもしれませんね。

地震は起こってからでないとわからないということであれば、起こったとき何が問題になるか、よく知っておくことが大事な備えになります。飲み水、食料の用意は、するに越したことはありません。非常用持ち出し袋も、命が助かったとき、もしも手元があれば、役に立つでしょう。

しかし、これまでに災害を受けた地域の人々が教えてくれる一番現実的な事柄は、トイレです。避難先などで簡易トイレが用意されればよいのですが、大地震がおこってから自宅で過ごす人たちにとって、断水（停電、ガス供給の停止と共に、必ず起こる）になったとき、水洗用の水を確保することが不可能になります。いまのトイレは、たいてい水洗式です。流す水がなかったら、使えません。水道が止まったら、即アウトです。便は便器にたまる一方です。だから、

大きな地震が起こったとき、まっさきにすべきことは、地震直後で水道が使える内に浴槽などになるべくたくさん水をためること、この忠告には説得力があります。ちなみに私は、かなりの量の水と災害用簡易トイレを備えました。二、三日水が止まっても、なんとかかなりそうです。もちろん、家が住めるような状態でなくなったときは、避難先に頼るしかありません。トイレの問題どころではありません。

地震は来ないほうがよいに決まっています。しかし、必ず来るのであれば、できる準備はしておくにこしたことはありません。いまからでも遅くはありません。下敷きにならないように家具の位置に注意しておく、ガラスのかげらの上を歩けるように、つねに履き物（スリッパでもよいでしょう）を近くに置くなど、考えることはいろいろありますね。

お断り

これは、『友引町内会通信』2011年（平成23年）7月号の散歩道の記事に手を加えたものです。

（散歩道）

『私説法然伝』(44)

王家と平家の時代⑨

先月号では平清盛が政権の頂点となり経済改革を通じて「日本」の掌握を狙ったことについて書きました。今月号はその続きについて書きます。

【承安二年(一一七二年)】清盛は娘徳子を、後白河帝と滋子との子である高倉天皇の中宮とする事に成功する。これが事実上の後白河院政下における平清盛の全盛とも言える。この後白河帝と平清盛の両輪による政権全盛をさらに支えた両輪が、清盛の子の平重盛卿と義理の弟であった平時忠卿であった。重盛は保元の乱・平治の乱を通して父清盛を支え武功を立てた。二条帝親政下では二条帝からの絶大な信頼を受け、若くして参議となる。後白河帝との関係も良好で、同じく参議として国政に関わり、清盛の後継者として軍事警察権を与えられるなど、まさに順風満帆な出世であったが、

後白河帝からしたら何をするかわからない清盛よりも、数々の武功を上げた優秀な軍人でありながらも実直かつ温和な性格の重盛の方が御し易いという判断も含まれていたものと思われる。しかし歴史書『愚管抄』を書き残した慈鎮和尚慈円ですら重盛を「イミジク心ウルワシク」と書き残しているほどの人格者であり、その人柄が政権運営に大きく影響した事は間違いない。平時忠は清盛の継室の時子の異母弟であり、失脚しながらも再び政権中枢に返り咲くほどの「しぶとい」実務官僚にして政治家であった。実務官僚の中でも重要な役職である蔵人・検非違使・弁官の三職を兼任するなど(三事兼帯)、その実務能力は実際に優秀であった。特に検非違使という警察官僚としては特に優秀で、平清盛政権を支え続ける原動力の一つであった。

この兩名をはじめとして優秀な軍人・官僚・政治家が政権を支えるのであるが、院政を開始した後白河帝と、位人臣を極めた平相国清盛入道の経済改革等の独自路線、さらに摂関家や寺社勢力を巻き込んだ

対立が始まるのが、承安二年という年であった。】

後白河帝と清盛という二大巨頭による政権運営は順調そうに見えましたが、日本史上初の武家出身者が太政大臣となったこと、前代未聞の試みとも言える一大経済改革と国際化路線、「平家」による大多数の知行国の独占や莫大な荘園の保有はパワーバランスの偏りを招きました。それが対立を生み出し、争いとなったのです。その争いが時代をさらに変革へと動かしていきました。

以下次号に続く(征阿)



平清盛画像

観経物語(121)

正宗分(しょうじゅうぶん) その75
散善(さんぜん) 下品中生その1

《本文》

佛、阿難及び韋提希に告げたまう。

「下品中生とは、或いは衆生有りて、五戒八戒、及び具足戒を毀犯す。此の如き愚人は、僧祇物を盗み、現前僧物を盗み、不浄説法し、慚愧有ること無し。諸々の悪業を以てして、自ら莊嚴す。此の如き罪人は、悪業を以ての故に、応に地獄に墮つべし。命終わらんと欲する時、地獄の衆火、一時に俱に至る。」

《意味・訳文》

佛(お釈迦さま)は阿難(佛弟子・修行僧)と韋提希(在家信者)に告げられた。

「下品のうちの中の下品の往生の仕方とは次のようなものである。衆生のうちには、五戒(在家、出家を問わず守るべき五つの戒律) 不殺生戒・不偷盜戒・不邪淫戒・

不妄語戒・不飲酒戒↓殺さず・盗まらず・乱れず・嘘をつかず・酒を飲まず) あるいは八戒(在家信者が一日一夜の限られた日に守るべき戒律。五戒の外に三戒を加える) 不塗飾香鬘不歌舞觀聽戒・不眠座広巖麗牀座戒・不非時食戒↓化粧をした

り歌舞を見聞きしたりしない・贅沢な座具や寝具を用いない・正午過ぎてからの食事をしない。經典により諸説あり) や、具足戒といつて二十歳以上の出家修行者が守るべき二百五十の戒律などを犯し破るものがあるだろう。このような愚人は、僧祇物といつて出家僧の教団に属する財産を盗んだり、僧に(布)施された財物を盗んだり、不浄説法といつて評判が高くなるような説教をしたりしても、恥じる心も持たない。

それどころか多くの悪事を働くことによつて、自らの身に威嚴をそなえようとさえする。このような罪人は、悪業、その悪い行いの結果として、当然ながら地獄へ落ちる身となる。これらの人らのその命が終わらんとする時、地獄の多くの火炎が、一斉に襲いかかってくるであろう。

《私訳》

在家の篤信の人でも、出家者でも、お釈迦さまが決められた身を清浄に保つ戒律を破り、或いは不浄な説法をして評判を得ようとする者までいて、人がいかに清浄に身を保つことが困難であることを教えられています。ただここで、悪い行いをする人を「愚人」おろかな人」と呼んでおられることに注目したい。以前には「凡夫」とか「濁悪人」としておられたのが、ここにきて悪人はもちろん、悪と知りつつ愚かな行為をする人を憐れんで輪廻から離れるべき道筋を示そうとして、一括りにして「愚人」と呼ばれたのではないでしょうか。

《妙星齋》

